



金子 道宏 社長 塚本 能交 会頭

塚本会頭が行く  
**会員さん、  
 こんにちは!**

Vol.18  
 会員訪問レポート



地域の食・菓子・酒のブランディングとプロモーションを応援する株式会社第一紙行を訪問し、代表取締役の金子道宏さんにお話を伺いました。(訪問日：11月20日)

# 日本の食と地域の 「高付加価値化」をサポート!

## 株式会社第一紙行

中堅・中小企業を顧客に「ブランディング」「プロモーション」「パッケージング」「プロデュースング」全般のトータルサポートをしている同社。「お客様と対話し、共に考え、共に創り上げる」をモットーに、単なるパッケージ制作にとどまらず、ファンを作り、会社のブランドそのものを高め、未来につながることを目標に掲げています。

1946年の創業当初は、オリジナルの包装紙・紙箱等を提案していましたが、パッケージ屋から脱却すべく、1980年頃から「企業のブランディング」まで事業領域を拡大。2019年に現在の金子社長が6代目として就任以降は、「食」と「地域の文化」にスポットを当て、埋もれた魅力ある商品の掘り起こしとブランディングに力を入れてい

ます。地域で受け継がれてきた食品・菓子・酒の魅力と想いをさらに引き出し、磨き上げ、より長く愛される「仕組み」づくりをお手伝いしています。

### 総勢70名もの クリエイターが在籍!

元々、魅力のある商品をさらに磨き上げるには、デザインやコンセプト



パッケージリニューアルに携わった事例



食と地域に対する熱い想いが止まりません!

提案に秀でた人材が必要です。社名に「紙」とありますが、創業時から自社に生産設備は持たず、デザイナーやプランナー等70名を超えるクリエイターが価値の源泉です。人の知恵を大切に、先を見据えたブランディングを心掛けています。土台である社員の教育や採用力を高めるため、京都商工会議所の雇用支援のセミナーにも参加。また、「知恵の経営」実践セミナーにも参加し、強みをさらに高めようとしています。

「商品が生まれた背景を知り、商品を愛し、興味を持つお客様と共に取り組んでいく姿勢は、いつの時代も変わらぬ大切な軸」と金子社長。地域の食文化を次代につなぐべく、国内外への発信力をさらに高めていきます。

京都には、歴史や文化を持つ企業が数多くありますが、必ずしもブランディングや販売促進が上手いというのは限りません。同社のブランディング力・プロモーション力で、京都の魅力が国内外へ知れ渡っていくことを期待しています。



株式会社第一紙行  
 京都市中京区烏丸通六角下ル七観音町634  
 ONEST京都烏丸スクエア6F  
 ☎075-253-0800  
<https://www.lifedesign.co.jp/>